

## 令和2年度地方創生関係交付金事業等 (事業概要)

|    |  |   |    |
|----|--|---|----|
| 1  | いばらきeスポーツ産業創造プロジェクト  | — | 1  |
| 2  | コンテンツ活用ブランド力アップ支援事業  | — | 2  |
| 3  | 外国人材活躍促進事業   | — | 3  |
| 4  | プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業  | — | 4  |
| 5  | いばらき伝統的工芸品産業イノベーション推進事業                                      | — | 5  |
| 6  | ベンチャー企業創出支援事業  | — | 6  |
| 7  | 次世代技術活用ビジネスイノベーション創出事業                                       | — | 7  |
| 8  | 県北地域牽引産業・中核企業創出事   | — | 8  |
| 9  | 茨城県工業技術センター施設機能強化事業  | — | 9  |
| 10 | 繊維・プラスチック産業支援拠点整備事業  | — | 10 |
| 11 | 茨城県工業技術センター生産性向上支援拠点機能強化事業                                   | — | 11 |
| 12 | つくば創業プラザ分室整備事業   | — | 12 |
| 13 | つくば等の科学技術を活用した成長産業創出プロジェクト                                   | — | 13 |
| 14 | いばらき宇宙ビジネス創造拠点事業   | — | 14 |
| 15 | Society5.0 地域社会実装推進事業  | — | 15 |
| 16 | ブランド力強化のための優良原種苗供給拠点整備事業                                     | — | 16 |
| 17 | AI解析による新たな農業技術研究拠点整備事業<br>「イチゴの栽培環境制御施設」                     | — | 17 |
| 18 | AI解析による新たな農業生産技術及び貯蔵技術研究拠点整備事業<br>「サツマイモの栽培環境制御施設及び貯蔵環境制御施設」 | — | 18 |
| 19 | さつまいも先進的生産技術研究拠点整備事業   | — | 19 |
| 20 | 水産試験場内水面支場研究機能強化事業   | — | 20 |
| 21 | 古民家を活用した茨城ブランド力向上事業  | — | 21 |
| 22 | ひたちなか大洗リゾート構想推進事業  | — | 22 |
| 23 | 県北ニューツーリズム推進事業   | — | 24 |
| 24 | 水郷筑波・サイクリングによるまちづくりプロジェクト                                    | — | 25 |
| 25 | 市民力による歴史遺産活用まちづくりプロジェクト                                      | — | 27 |
| 26 | DMO観光地域づくり推進事業   | — | 28 |
| 27 | 筑波山・霞ヶ浦広域エリア観光連携促進事業   | — | 29 |
| 28 | 茨城県フラワーパークワークショップ施設整備事業                                      | — | 30 |
| 29 | いばらき地酒バー販売拡大促進事業   | — | 31 |
| 30 | 茨城県就職支援奨学金助成事業   | — | 32 |
| 31 | UIJターン・地元定着支援強化事業  | — | 34 |
| 32 | つながる茨城チャレンジフィールドプロジェクト                                       | — | 35 |
| 33 | わくわく茨城生活実現事業   | — | 36 |
| 34 | 働き方改革・生産性向上促進事業  | — | 37 |
| 35 | 茨城県立県民文化センター施設整備事業   | — | 38 |
|    | (資料配布のみ)   |   |    |
|    | ・茨城県産業技術イノベーションセンター基盤技術試験棟整備事業                               | — | 39 |
|    | ・茨城県フラワーパーク振興対策事業  | — | 40 |
|    | ・アクアワールド茨城県大洗水族館魅力向上事業                                       | — | 41 |

# 1 いばらきeスポーツ産業創造プロジェクト

## いばらきeスポーツ産業創造プロジェクト事業

【R2当初予算額 30百万円】

産業戦略部産業政策課産業企画G (029-301-3523)

国体での大会開催実績を活かし、「eスポーツの拠点・茨城」のブランド化と関連産業の誘致・創出を図るため、eスポーツ競技環境の整備や人財育成を進めます。

- 1 eスポーツ競技環境の整備 (10百万円)
  - ・企業等が行うイベント開催やチームづくりの支援
  - ・eスポーツ産業創造フォーラムの開催

- 2 人財育成 (20百万円)

- (1) いばらきeスポーツアカデミー

企業や学校関係者を対象とした定期的な講座の開催、eスポーツの社会的意義等の調査・研究

- (2) いばらきeスポーツ推進事業

eスポーツ関連企業経営者やプロプレイヤーなどを活用し、県内でのeスポーツの普及、産業化に向けた取組を推進

- (3) 茨城県eスポーツ推進協議会

eスポーツ産業の拠点形成に向けて、産学官が連携したプラットフォームを設置し、ビジネス参入やイベント開催を支援



## 2 コンテンツ活用ブランド力アップ支援事業

### コンテンツ活用ブランド力アップ支援事業（新規）

【R2当初予算額 15,572円】

産業戦略部産業政策課産業企画G（029-301-3523）

中小企業がコンテンツやデザインを活用した商品・サービスの高付加価値化、販路開拓、ブランディング等を図る取組を支援することで、県内産業の活性化を目指します。

#### 1. コンテンツ活用ブランド力アップ補助金

- ・ 県内中小企業等が、クリエイターを活用して、企業のブランド力・競争力の強化につながる取組を行う場合に、経費の一部を助成
- ・ クリエイターを活用した経験が少ない事業者に対しては、経験豊富なクリエイターを配置したワークショップを開催してその取組を支援

【補助対象】 県内中小企業等

【補助率】 1/2 【補助限度額】 70万円 【件数】 10件

#### 2. セミナー、相談会の開催

- ・ コンテンツ活用やブランディング事例を紹介するセミナーの開催
- ・ 中小企業等とクリエイターのマッチングイベントや相談会の開催





## 外国人材活躍促進事業



【R3当初予算額 115,836千円】

産業戦略部労働政策課雇用促進対策室 (029-301-3645)

県内企業の人手不足を解消するため、「茨城県外国人材支援センター」において、外国人材との就職マッチング支援強化や外国人雇用モデル企業の創出等に取り組みます。

### 1 外国人材の確保 (68,952千円)

(1)重点国※における海外在住人材と県内企業就職マッチング

- ・覚書を締結した海外地方政府、大学、公的機関共催による茨城県ガイダンス及び就職マッチングフェア

※ベトナム、インドネシア、ミャンマー、モンゴル

- ・ベトナム・ロンアン省からの介護人材受入れプログラム「茨城県コース」実施(福祉指導課と連携)

(2)国内(県内・県外)留学生と県内企業就職マッチング

- ・茨城県視察ツアー、インターンシップマッチング

(3)専門アドバイザーによる県内企業からの相談対応

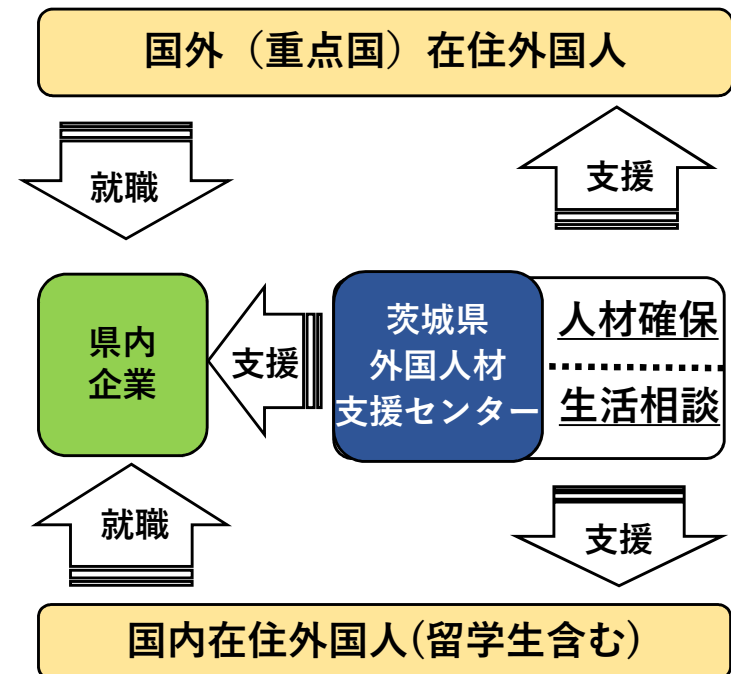
(4)外国人雇用モデル企業創出のための集中支援

- ・受入体制整備(専門家派遣等)から採用まで集中支援

### 2 選ばれる茨城県づくり (46,834千円)

(1)日本語学習支援eラーニングシステムの提供

(2)駐日在外公館等向け県内視察ツアーの開催



## 4 プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業

### プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業

【R2当初予算額 83,295千円】

産業戦略部労働政策課雇用促進対策室 (029-301-3645)

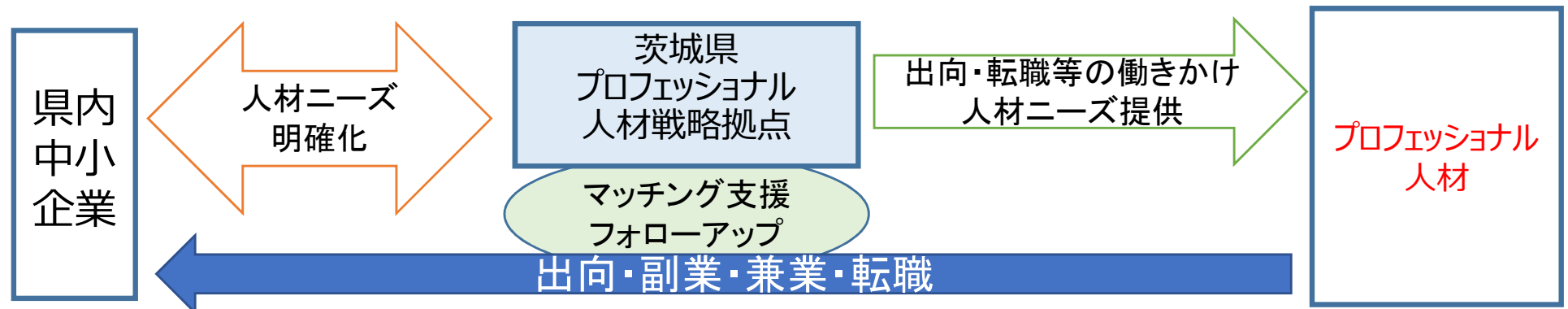
県外企業等の高度なスキルを持った人材について、本県での就業をさらに促進するため、転職・副業等の多様な形態による県内企業とのマッチングを実施します。

#### 1 プロフェッショナル人材戦略拠点の運営

- (1) 企業が持つ潜在成長力への気付きを喚起し「攻めの経営」への転換促進
- (2) 必要な人材ニーズの明確化・マッチングを支援
- (3) 経営者及び人材双方に対するフォローアップ

#### 2 副業・セカンドキャリア推進

- (1) 大手企業を訪問し、転職などのセカンドキャリア・副業解禁を促進
- (2) マッチングイベントの開催
- (3) 副業人材の活用に関する普及セミナーの開催
- (4) マッチング集中支援の実施



# 地場産業に対する支援

技術革新課 地域産業振興室  
(029-301-3585)

## 5 いばらき伝統的工芸品産業 イノベーション推進事業

R2予算額： 18,387千円

地酒や石材、菓子等の地場産業及び県指定の伝統工芸品に関する販路開拓・PR等の取り組みの支援に加え、笠間焼の業務用食器市場への販路開拓を推進することにより、本県地場産業及び県伝統工芸品の販路拡大や産地ブランドイメージの向上を図ります。

### 【主な事業の概要】

#### 1 地場産業等総合支援事業補助金（組合等が実施する販路開拓、商品開発等への助成）

- 〔支援例〕
- ・ 需要開拓・PRのための展示会の開催
  - ・ 後継者育成のための製造技術に係る研修会の実施 など

#### 2 笠間焼のB to B 販路開拓推進

意欲のあるグループを選抜し、販路開拓専門アドバイザーの指導・助言のもと、業務用食器による販路開拓を集中的に実施

#### 3 県伝統工芸士及び工芸品の認定及び県伝統工芸品販路拡大支援

- ・ 県伝統工芸士及び工芸品の認定
- ・ 販路拡大支援  
伝統工芸品展の開催（県内外各1回）、都内セレクトショップ等での試験販売
- ・ 工芸品パンフレット（いばらき手仕事帖）制作



## 6 ベンチャー企業創出支援事業

### ベンチャー企業創出支援事業（継続）

【R2当初予算額 64,000千円】

産業戦略部技術振興局技術革新課イノベーション創出G（029-301-3522）

産学官金が連携し、優れた技術シーズの発掘・事業化から定着までを一貫して支援し、本県から世界に挑戦するベンチャー企業の創出・育成に向けて取り組みます。

#### 1 技術シーズの創出

- ・筑波大学や産総研等が連携して行う「つくば産学連携強化プロジェクト」に参加し、共同研究を支援

#### 2 創業・事業化支援

- ・大学や研究機関等が持つ先端的な技術シーズを発掘
- ・金融機関や県内外企業とのマッチング等創業・事業化に向けた支援

#### 3 ベンチャー企業に対する賃料補助

- ・対象：創業5年以内のベンチャー企業
- ・補助率：1/2（上限240万円/件，3年間）





## 次世代技術活用ビジネスイノベーション創出事業



【R2実績額 106,004千円（内交付金対象：105,973千円）】

産業戦略部技術振興局技術革新課  
技術革新支援G（029-301-3579）

新ビジネス創出による中小企業の競争力強化を図るため、IoT・AI等の知識やビジネス創出ノウハウ等の修得から、ビジネスプラン構築、次世代技術を活用したビジネスの創出・展開まで、一貫して支援します。

### 1 新ビジネス創出のワンストップ支援

- ・ 統括プロデューサーの設置
- ・ 新ビジネス創出の環境整備（コワーキングスペース等）

### 2 新ビジネス創出支援

- (1) IoT・AI等を活用できる人材の育成
  - ・ アイデア創出等のノウハウ修得支援
  - ・ 次世代技術を活用・分析できる人材育成
- (2) ビジネスプラン構築
  - ・ 経験豊富な指導者がビジネスプラン構築を支援
  - ・ ビジネスプラン審査会で優れた案件を選定（3件）

### 3 ビジネスプラン実証支援

- ・ 優秀なビジネスプランの実証を支援
- ・ 実証経費上限5百万円/件、メンタリングの実施

#### ワンストップの支援体制

- ・ 統括プロデューサーの助言・指導
- ・ コワーキングスペースの運営 等



学ぶ

#### IoT・AI等人材の育成

アイデア創出・次世代技術活用方法の習得

#### ビジネスプラン構築

考える



経験豊富な指導者の支援のもと、具体的なビジネスプランを構築

ビジネスプラン審査会

試す

#### ビジネスプランの実証

優秀案件の実証経費支援、メンタリング



## 県北地域牽引産業・中核企業創出事業

【R2実績額 32,522千円】

産業戦略部技術振興局技術革新課  
技術革新支援G (029-301-3579)

電気・機械産業とその研究成果が集積する県北地域の産業競争力強化を図るため、企業の連携体の活動支援や研究開発ができる人材の確保に向けた取組を支援します。

### 1 分野特化型新連携体の活動支援

医療機器分野や宇宙機器分野など、強みのある分野特化型新連携体のPR活動や他地域との連携を促進するほか、連携体を構成する中核企業の販路開拓等を支援する。

- (1) 連携体の支援 (シェアオフィス設置、HP運営など)
- (2) 販路開拓の支援 (展示会出展、大手企業訪問など)



シェアオフィスの様子

### 2 技術開発・研究開発人材確保支援

地域企業と大学との技術開発・共同研究や、研究開発ができる人材の企業への派遣により、企業と大学の連携環境を構築する。



分野特化型新連携体の展示会ブース

# 9 茨城県工業技術センター施設機能強化事業

## 工業技術センター施設機能強化事業（新規）

H29年度実績額 746,876千円（拠点整備交付金）

産業戦略部技術振興局  
技術革新課技術革新支援G  
(内線3579)

多様化、高度化する中小企業のニーズに適切に対応し、ローカルイノベーションの促進に資する試験研究環境を整えるため、工業技術センターの施設整備を実施する。

### 整備概要

#### 1 新棟（IoT／食品棟）の建設

##### (1) 新棟整備概要（予定）

構造：鉄骨造 2階建，延床面積：約1,800m<sup>2</sup>

##### (2) 新棟の機能

中小企業におけるIoT導入促進や食品産業等への支援を強化

- ア 模擬スマート工場を活用したIoT実証実験及びロボット技術者等の育成
- イ 3Dデータを活用した製品設計支援
- ウ 食品成分の分析や発酵食品（日本酒、納豆、漬物等）の研究開発
- エ IoT関連製品開発
- オ 地域食材を活用した加工食品の開発や6次産業化の支援 など

#### 2 既存施設の改修

##### (1) 改修概要（予定）

- 管理・機械金属研究棟（精密測定室、電磁波測定室等）
- 機械金属試験棟（環境試験室等）
- 清酒製造技術研究棟（出麴室等）

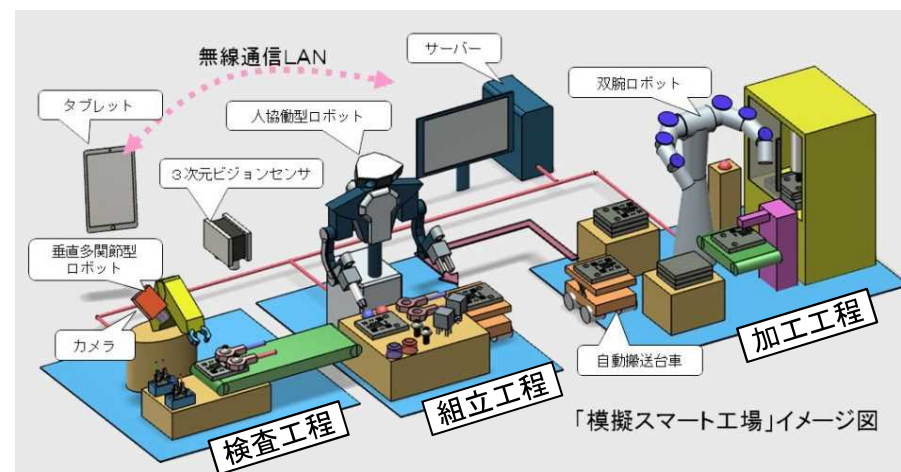
##### (2) 改修による機能強化

新製品・新技術開発や人材育成への支援を強化

- ア より高精度な寸法・形状測定、国際規格に対応した電子機器のノイズ測定
- イ セキュリティに配慮した長期環境試験
- ウ 麴作りに最適な環境での清酒製造人材育成 など

#### 3 完成

平成30年3月



IoT活用促進に資する模擬スマート工場



清酒製造人材育成研修



発酵食品に関する研究

## 繊維・プラスチック産業支援拠点整備事業（終了）

産業戦略部 技術革新課  
技術革新支援G（内線3578）

総事業費 **H29** : 119,076千円（地方創生拠点整備交付金）

多様化、高度化する中小企業のニーズに適切に対応し、ローカルイノベーションの促進に資する試験研究環境を整えるため、工業技術センター繊維工業指導所の改修を行う。

### 整備概要

#### 1 既存施設の改修

##### (1) 改修箇所

- ・試験研究棟（各種試験室や研究室など）
- ・事務棟（講堂，デザイン研究室など）

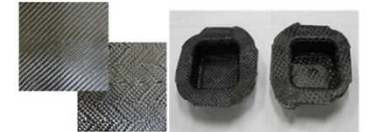
##### (2) 改修概要

自動車や航空機産業などへの参入を目指した、高機能繊維、導電性繊維、炭素繊維強化樹脂、プラスチック成形等に関する技術支援へのニーズに対応するため、試験研究、中小企業等との共同研究及び研究開発人材の育成などへの支援強化を目的とし、以下の整備を実施する。

- ・高精度な温度管理が可能となる繊維やプラスチックの試験研究室
- ・企業との共同研究のためセキュリティが確保された研究室
- ・高精度な温湿度環境制御が可能な物理試験室
- ・防塵対策や気密性を確保した炭素繊維強化樹脂に関する研究室
- ・人材育成セミナー等のための研修室
- ・研究成果のPRのための展示室 など

#### 2 改修工事完了

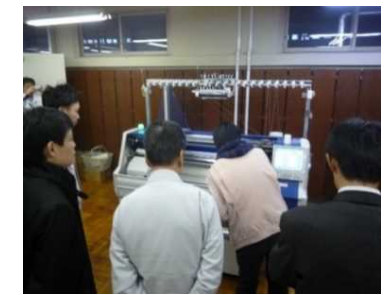
平成30年3月



炭素繊維強化樹脂試作品と加工装置



繊維材料の評価  
（強度試験）



機器を活用した  
技術セミナー

## 茨城県工業技術センター生産性向上支援拠点機能強化事業（新規）

産業戦略部技術振興局  
技術革新課技術革新支援G  
(内線3579)

H30年度実績額 157,126千円（拠点整備交付金）

- ・Co-workingスペースを整備し、生産性革命に繋がるIoT関連機器開発を支援する
- ・複合加工技術開発支援設備・材料評価試験室を整備し、高効率・低コストな生産技術開発を支援する

### 整備概要

#### 1 Co-workingスペース改修

##### (1) 改修概要

管理・機械金属研究棟（旧電波暗室、シールドルーム等）を撤去し、Co-workingスペースを整備する

##### (2) 新棟の機能

中小企業のIoT等を活用した新ビジネス創出のための支援を強化

ア IoT・AI等の次世代技術を活用できる人材の育成

イ ビジネスプラン構築等各種研修開催

ウ IoT関連機器の試作開発 など



Co-workingスペース

#### 2 複合加工技術開発支援設備・材料評価試験室改修

##### (1) 改修概要

機械金属試験棟（生産システム実験室、材料試験室等）を撤去し、複合加工技術開発支援設備・材料評価試験室を整備する

##### (2) 改修による機能強化

新製品・新技術開発や人材育成への支援を強化

ア ダイカストマシンによる事業化（量産化）を考慮した開発支援

イ 恒温室による材料評価機能の強化 など



複合加工技術開発支援設備・材料評価試験室  
(ダイカストマシンシステム)

#### 3 完成

平成31年3月

### つくば創業プラザ分室運営事業（継続）

【R2当初予算額 4,834千円】

産業戦略部技術振興局技術革新課イノベーション創出G（029-301-3522）

ベンチャー企業の創業促進と利便性向上を図るため、東京からも便利なつくばエクスプレスつくば駅周辺において、インキュベーション施設（つくば創業プラザ分室）を運営します。

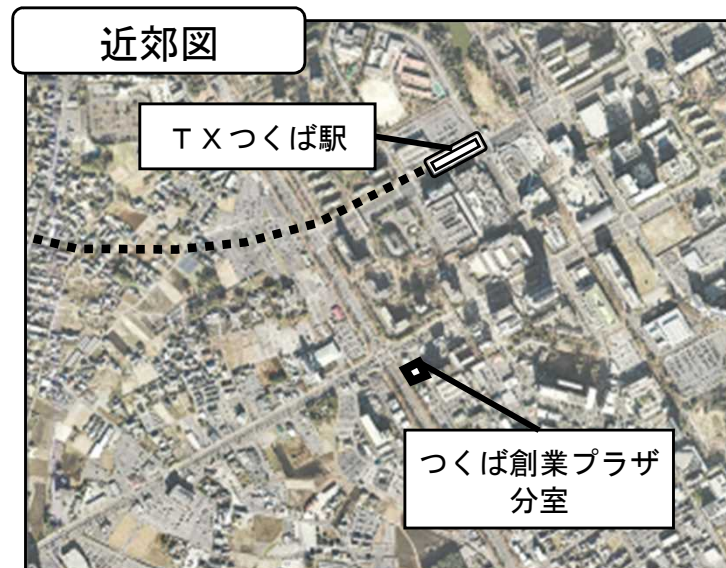
#### 1 事業内容

- ・ベンチャー向けオフィス（約30㎡/室，6室）の提供
- ・事業活動支援

指定管理者による事業計画策定支援や販路開拓支援，融資相談，各種情報提供などの経営支援

#### 2 つくば創業プラザ分室概要

- ・所在地：茨城県つくば市東新井13-2  
（民間ビルの一部を県が賃借）  
つくばエクスプレスつくば駅から徒歩約8分
- ・事業活動支援を行う職員を施設内に配置



## 近未来技術社会実装推進事業

【R2年度当初予算 21百万円】

産業戦略部技術振興局  
科学技術振興課・研究開発推進G (029-301-2499)

AI, IoTおよびロボット等の近未来技術の活用により高齢・人口減少社会の人手不足等の様々な課題解決を目指すとともに、県内における関連産業の振興を図るため、近未来技術の社会実装に向けた研究会を開催します。

### 1. 分野別研究会の開催

ユーザー、メーカー、有識者等が参加する分野別の研究会を開催し、ユーザーニーズの把握、最新技術の情報共有、プロトタイプのパブリック実演・検証、サービス提供体制等について協議やマッチングを実施

〔開催予定の分野〕

① 農業 ② 医療 ③ 環境 ④ インフラ・防災

〔内容例〕 ・ 本県気候にあった農作物生育予測システムの普及  
・ カーナビ情報を活用した道路維持管理システムの開発・普及  
・ 無人自動小型飛行機によるインフラ（河川等）点検技術の開発・普及

### 2. 近未来技術地域実装協議会の開催

関係府省庁を構成員に含む近未来技術地域実装協議会を開催し、技術の実証・実用化に必要な規制緩和等について検討（つくば市と共同で開催）



－ドローンでの圃場空撮－



－離陸する無人飛行機－

## いばらき宇宙ビジネス創造拠点事業

【R2当初予算額 145百万円】（R1当初予算額：105,316千円）

宇宙ビジネスに挑戦しやすい環境づくりを進め、宇宙ベンチャーの創出・誘致と県内企業の宇宙ビジネスへの新規参入を促進します。

### 1 宇宙ビジネスの機運醸成（10百万円）

- ・宇宙分野の投資家等を招聘したビジネスマッチングの開催

### 2 宇宙ビジネスを支える体制構築（61百万円）

- ・コーディネーターによる相談対応，ニーズ把握・シーズ発掘
- ・企業や産業支援機関等で構成するコンソーシアムの運営
- ・宇宙機器開発に係る試験設備ネットワークの構築

### 3 挑戦する企業等の事業化加速（74百万円）

- ・宇宙関連企業等に対する財政支援
  - ①試験設備利用料補助
  - ②販路開拓，衛星データを活用したソフトウェア開発費補助（補助率2/3，上限①80万円・②400万円）
- ・コンソーシアムの会員企業等が取り組む事業構想の事業化のサポート
  - ①アドバイザーによる助言 ②イベント登壇 ③研究開発支援等



Society5.0地域社会実装推進事業（新規）

【R2当初予算額 23百万円】

産業戦略部技術振興局  
科学技術振興課研究開発推進G（029-301-2499）

地域で抱える社会課題を解決するため、AIやIoT等の先端技術の社会実装を推進し、Society5.0実現に向けて、意欲のある市町村の取組を支援します。

1. 市町村が実施する実証実験等への支援 20百万円

地域社会の課題解決（Society5.0の実現）に取り組む市町村を支援（補助金）

- 〔内容例〕
- ・ 自動宅配ロボットによる買物支援
  - ・ 自動運転車椅子活用による介護支援
  - ・ ドローンを用いた農作業や施設点検の効率化など

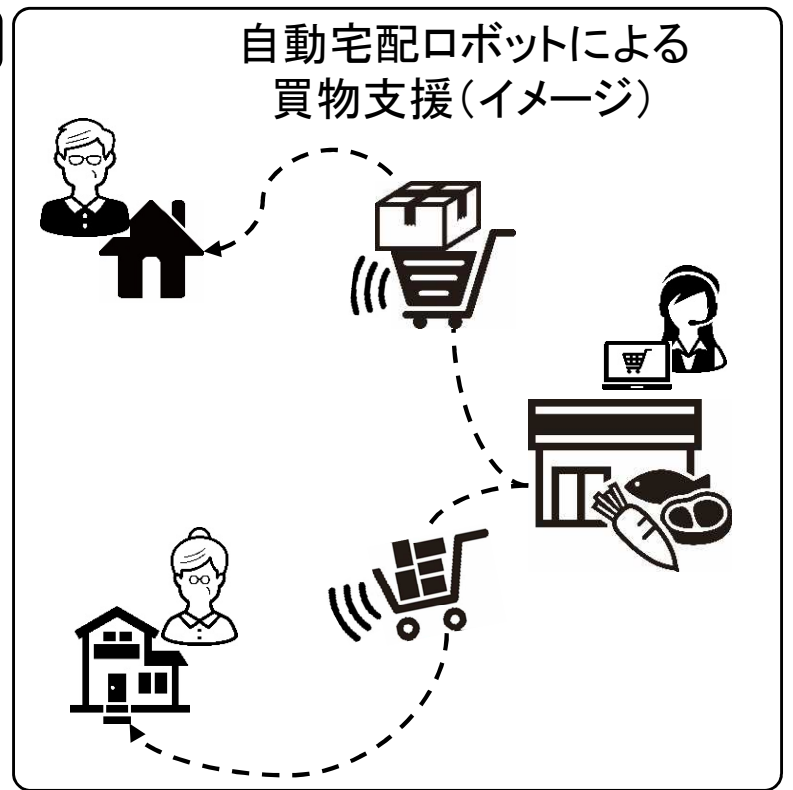
〔対象経費〕 実証実験等に要する経費

〔補助率〕 1/2（一件あたり上限5百万円）

2. シンポジウムの開催 3百万円

市町村，企業等を対象とした，Society5.0に関するシンポジウムを開催

- 〔内容〕 講演，パネルディスカッション，事例発表，展示，マッチング相談会等





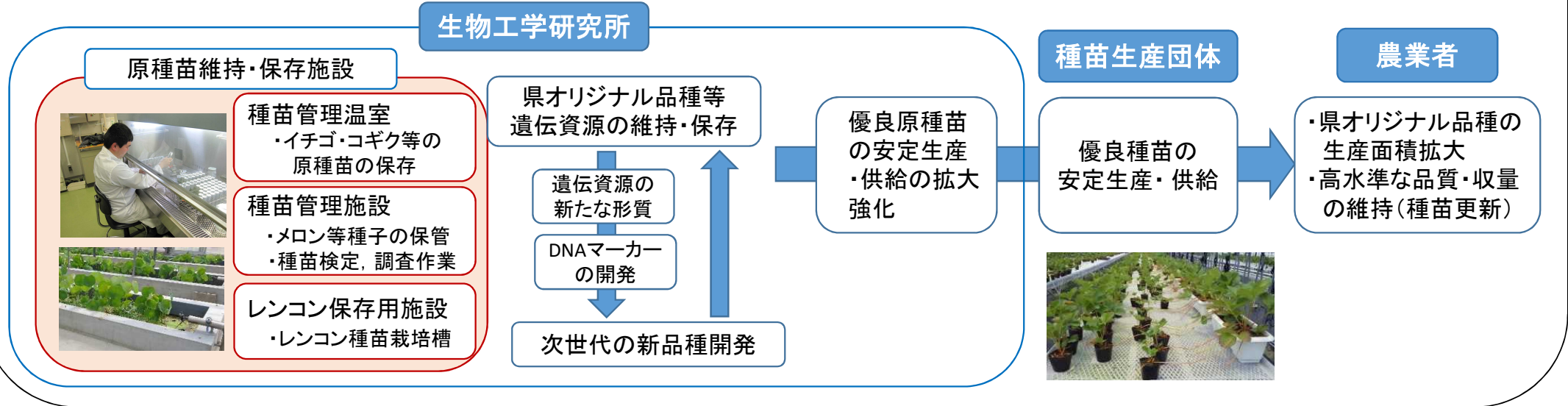
# 16 ブランド力強化のための優良原種苗供給拠点整備事業

## ブランド力強化のための優良原種苗供給拠点整備事業

地方創生整備拠点交付金(H29補正) 160,731千円

### 事業内容

- ・ブランド化の牽引役である県オリジナル品種の原種苗を維持、保存、生産し、種苗生産団体等へ安定的に供給
- ・保存する遺伝資源を活用して、ニーズに対応した市場性・収益性の高い新たな品種を開発



### 将来像

- ・付加価値の高い県オリジナル品種の持続的な生産・販売による、収益性の向上
- ・次世代の品種開発を加速化し、市場性・収益性の高い新品種を育成

### KPI

供給可能な品種・系統数(10品目)  
H28:56系統 → H34:66系統

ブランド力の強化による競争力ある産地づくりと生産性向上による「儲かる農業」の実現  
新たな雇用の創出(新規就農促進)

# 17 AI解析による新たな農業技術研究拠点整備事業「イチゴの栽培環境制御施設」

## AI解析による新たな農業技術研究拠点整備事業「イチゴの栽培環境制御施設」

地方創生整備拠点交付金(H29補正) 222,250千円

### 事業内容

- ・イチゴの高品質・高収量を実現する革新的な栽培技術をAIで解析し、確立するために必要なビッグデータを収集
- ・県オリジナルイチゴ品種「いばらキッス」の収益性・生産性向上を図るための革新的技術の開発とマニュアル化

### 園芸研究所

人工気象室



栽培環境制御施設

**画像データ**  
(生育, 果実形状, 病害虫等)

**環境データ**  
(温湿度, CO2濃度, 明るさ等)

**生育データ**  
(収量, 品質, 生育量等)

**作業データ**  
(施肥量, 水やり, 作業日誌等)

AIによる解析



農研機構などとの連携

- ・イチゴ「いばらキッス」の奇形果・先白果の発生要因の解明と生育指標の作成
- ・AI解析に基づく、高品質・高収量・超省力のための革新的技術開発



生育状況の画像診断



奇形果の発生要因解明

新規就農者でも実践できる革新的な技術開発とマニュアル化

普及センター, JA, 農業団体との連携による現場への普及

### 将来像

- ・AIやICTなど他県ではまだ取り組んでいない先端技術の開発と現場への速やかな普及
- ・県オリジナルイチゴ品種「いばらキッス」を中心に新規就農者でも実践できる革新的な技術開発とその技術の「見える化」, 「マニュアル化」

### KPI

- ・県オリジナル品種いばらキッスの単位面積当たり収量  
H28: 4,000kg/10a → H34: 5,000kg/10a

収益性・生産性の向上による儲かる農業の実現  
新たな雇用の創出(新規就農促進)

# 1 8 AI解析による新たな農業生産技術及び貯蔵技術研究拠点整備事業 「サツマイモの栽培環境制御施設及び貯蔵環境制御施設」

AI解析による新たな農業技術研究拠点整備事業「サツマイモの栽培環境制御施設及び貯蔵環境制御施設」

地方創生整備拠点交付金(H29補正) 98,570千円

## 事業内容

- ・サツマイモの高品質、高収量を実現する革新的な栽培・貯蔵技術をAIで解析し、確立するために必要なビッグデータを収集
- ・サツマイモの計画的、安定的な生産・貯蔵・出荷につながる技術開発とマニュアル化

### 農業研究所



画像データ  
(生育画像, 収穫物画像等)

### AIによる解析



産総研や農研機構  
などとの連携

- ・高品質のための貯蔵条件の解明と長期貯蔵技術の開発
- ・内部障害いも発生条件の解析と判別技術の開発



農業者の安定生産や  
出荷業者等の周年安  
定供給, 輸出に活用  
できる栽培・貯蔵技  
術の開発とマニユア  
ル化

普及センター, JA, 輸出  
業者等との連携による  
現場への普及

貯蔵環境制御施設

環境データ  
(温度, 湿度, 土壌水分等)

生育データ  
(つる長, 茎葉重, イモ重等)

作業データ  
(施肥量, マルチ等)



栽培環境制御施設

## 将来像

- ・AIやICTなど先端技術を活用した高品質生産技術や長期貯蔵技術の開発と現場への速やかな普及・定着
- ・周年安定供給や輸出促進によるさらなる販路拡大

## KPI

- ・内部障害いも(内部褐変症, 白腐病)の発生メカニズムの解明と非破壊判別技術  
0件→4件

収益性・生産性の向上による儲かる農業の実現  
新たな雇用の創出(新規就農促進)

## 地方創生拠点整備交付金活用事業（H30補正予算額 265,206千円）

政策企画部計画推進課地方創生G  
(029-301-2072)

国の地方創生に係る財政支援策である「地方創生拠点整備交付金（H30国補正予算，補助率：国1/2）」を活用し，「茨城県まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき，本県の地方創生の実現に向けた取組を推進します。

### 「新しい豊かさ」へのチャレンジ

#### ○農業総合センター地方創生拠点整備（予算額 20,244千円）

- ・本県農産物のブランド力強化による競争力のある産地づくりと生産性・収益性向上による「儲かる農業」を実現するため，全国に先駆けたAI解析による新たな農業技術を開発する研究施設を整備

<整備内容>

- ・AI解析による革新的栽培・貯蔵技術開発に必要なビッグデータの収集を図るため，農業研究所にサツマイモの栽培環境を制御する栽培用施設を整備

### 「新しい夢・希望」へのチャレンジ

#### ○つくば創業プラザ分室整備事業（予算額 62,480千円）

- ・ベンチャー企業の創業促進と利便性向上を図るため，東京からも便利なつくばエクスプレスつくば駅周辺において，インキュベーション施設（つくば創業プラザ分室）を整備

<整備内容等>

- ・ベンチャー向けオフィス（約30㎡/室，6室）の提供
- ・事業活動支援を行う職員を施設内に配置

#### ○フラワーパーク振興対策事業（予算額 182,482千円）

- ・民間企業の経営感覚と自由な発想を活かして策定した魅力向上計画を踏まえ，フラワーパークを茨城の魅力を再発見・再発信することのできる観光拠点に一新

<整備内容等>

- ・ワークショップ施設の整備（展示温室を体験型施設に改修）
- ・ロゴデザイン等制作業務委託（イメージ一新のためロゴや看板を変更）





## 水産試験場内水面支場研究機能強化事業



農林水産部漁政課 (029-301-4070)

内水面水産業の成長産業化やチョウザメの魚類養殖など新産業創出のため、水産試験場内水面支場の研究棟と魚類飼育実験棟を更新し、研究機能を強化します。

### (1) 整備内容

#### ① 研究棟（重量鉄骨造2階建て）

- ・ 執務室，精密処理室，分子生物学実験室等を整備
- ・ 精密な分析解析，魚病検査，分子生物学的解析を実施

#### ② 魚類飼育実験棟（重量鉄骨造平屋建て）

- ・ 大型水槽ゾーン，中小型水槽ゾーン，水槽実験ゾーン等を整備
- ・ 試験に応じて大型・中小型水槽を自由にレイアウト可能

### (2) 研究内容

#### ① チョウザメ養殖など新たなニーズに対応した研究

#### ② ワカサギ，ヤマトシジミ，アユ等の既存の試験研究を発展・展開

### (3) スケジュール

|        |       |      |   |
|--------|-------|------|---|
| 平成30年度 | 地質調査， | 実施設計 | 等 |
| 平成31年度 | 本体工事， | 設備整備 | 等 |
| 令和2年度  | 本体工事  | 等    |   |



# 2 1 古民家を活用した茨城ブランド力向上事業

## 古民家を活用した茨城ブランド力向上事業について

地域振興課

### 1 事業概要

貴重な地域資源である古民家を活用することで、本県のイメージアップ・ブランド力向上を図るため、民間主体での古民家活用の推進方策や、地域資源と連携させた古民家活用方策の構築や、県内古民家活用事例のPR等を実施。また、古民家活用合同研究会（大学教員、建築士、金融機関、古民家活用実践者等により構成）を設置し、取組内容やモデル事例について検討。

### 2 事業内容

|     |  |
|-----|--|
| H30 | <b>1 古民家活用に係る実態調査</b><br>・県内古民家数や古民家活用状況調査(民間含む)、モデル事業候補の選定など  |
| R1  | <b>1 古民家活用方策の検討, 活用促進に向けた情報発信</b><br>・古民家セミナーの開催（古民家所有者や活用希望者を対象に、古民家活用事例の紹介や、古民家活用相談会を実施。）<br>・県内の古民家活用事例を紹介するリーフレットの作成<br><b>2 地域資源と連携した新たな活用方策の構築（モデル事業）</b><br>・つくば霞ヶ浦りんりんロード沿線の古民家をサイクリスト向けのゲストハウスとして改修。<br>・名称 「古民家江口屋」（寄附により、かすみがうら市が所有） ・改修費 19,999 千円（国 1/2、県 1/4、かすみがうら市 1/4）<br>・運営主体（株）かすみがうら未来づくりカンパニー（かすみキッチン等を含む指定管理者）<br>※開業（R2.7.23）以来、営業日（金土日及び祝前日）は、ほぼ満室。R3.6から営業日を拡大（火～日営業（月曜定休））          |
| R2  | <b>1 古民家活用方策の検討, 活用促進に向けた情報発信</b><br>・古民家モニター・メディアツアーの開催（古民家を巡る観光モデルコースをPR）<br>・古民家活用フォーラムの開催<br>（古民家所有者や活用希望者を対象に、活用事例の紹介や資金計画に関する講演、専門家と意見交換をオンラインで実施。）<br>・古民家活用ガイドブックの作成（古民家活用に係る関係法令や、相談窓口をわかりやすく紹介）<br><b>2 地域資源と連携した新たな活用方策の構築（モデル事業）</b><br>・県北山間部にて、地域の食材を活かした食事の提供や、森林セラピー事業との連携などを想定した、カフェ・ゲストハウスとして改修。<br>・名称 「旧吉成邸」（大子町が所有者より賃借し管理）<br>・改修費 15,950 千円（うち、交付金対象部分 10,000 千円 [国 1/2、県 1/4、大子町 1/4]） |



### 古民家を活用した交流人口の拡大による茨城のブランド力の向上・イメージアップ

- ポテンシャルのある古民家について多様な活用方法が構築され、地域資源との連携による活用事例の増加（広域展開）



### ひたちなか大洗リゾート構想推進事業



【R2決算額 1,953千円】

政策企画部地域振興課ひたちなか整備室（029-301-2778）

「ひたちなか大洗リゾート構想」に掲げた施策を推進するため、ひたちなか大洗エリアを一体的に情報発信し、当エリアのブランディングを図ります。

#### ○ ひたちなか大洗エリアのブランディングの推進

※ひたちなか大洗リゾート構想推進協議会の事業として実施

##### (1) 地域を一体的にみせるための情報発信事業

・ 一体的な観光地として魅力を伝えるVR動画の作成・発信

##### (2) ひたちなか大洗リゾート構想推進協議会の運営

・ 協議会内に3つの部会を設置し検討・取組推進



地域共通の課題である観光客1人あたりの消費額向上を図るため、3つの部会で取組推進

## ① 高単価なサービス部会

### 【目的】

- ◆ 高単価層まで訴求できるサービスや、既存観光客の消費喚起につながる取組を推進

### 【R2年度の検討・取組内容】

- ◆ R3年度に食コンテンツに関する事業に取り組む方向性を決定

## ② ブランディング部会

### 【目的】

- ◆ 周遊促進・滞在時間の長期化を図るため、一体的なブランディングを推進

### 【R2年度の検討・取組内容】

- ◆ ひたちなか大洗地域を一体的な観光地として魅力を伝えるVR動画の作成・発信  
⇒情報発信事業費：5,753千円（財源：県1/6・市1/6・町1/6・交付金1/2）
- ◆ 地域の魅力を繋いだ4つのモデルルートを設定

## ③ 交通アクセス部会

### 【目的】

- ◆ 周遊促進を図るため、交通の利便性向上を推進

### 【R2年度の検討・取組内容】

- ◆ 交通アクセスに係る現状・課題整理





### 県北ニューツーリズム推進事業

【R2当初予算額 43百万円】  
[10百万円]

政策企画部県北振興局振興G (029-301-2715)

県北地域に点在する多様な地域資源（自然，温泉，歴史・文化遺産，食，アクティビティ等）をつなぐことにより，新しい滞在・体験型のツーリズムを推進します。

#### 1 県北ロングトレイルコースの整備・プロモーション（35百万円）

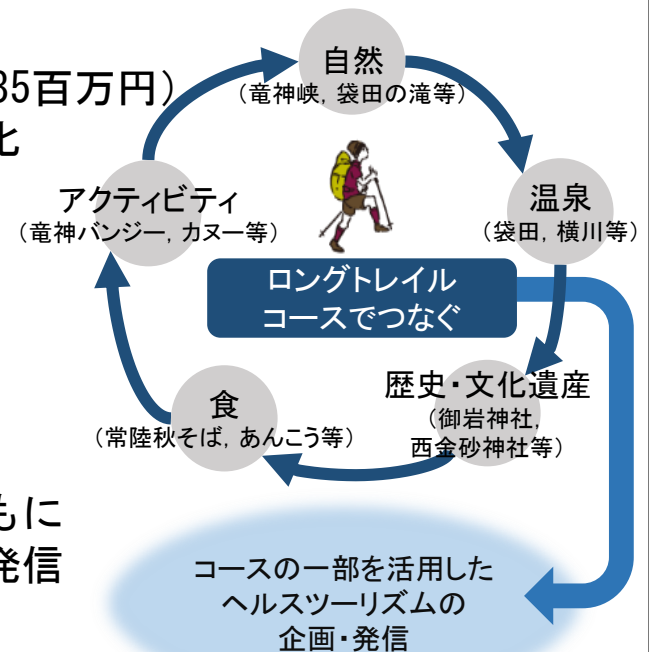
県北地域のハイキング道等をつなぎ，自然や歴史・文化などに触れながら歩く「ロングトレイル」を推進

- コースの下草刈，道標制作・設置
- モニターイベントの実施
- 県北ロングトレイル構想の県内外向け情報発信 等

#### 2 ヘルスツーリズムの企画・発信（8百万円）

県北地域の自然や温泉，食などを組み合わせ，心身ともに癒される旅行スタイル（ヘルスツーリズム）を企画・発信

- ヘルスツーリズムプログラムや実施体制の検討
- モニターツアーの実施



# 24 水郷筑波・サイクリングによるまちづくりプロジェクト



## いばらきサイクルツーリズム等推進事業



【R2当初予算額 16,260千円】

県民生活環境部スポーツ推進課サイクリングG (029-301-2735)

各地域の特色を最大限に活かしたサイクルツーリズムを全県的に推進していくため、各モデルルートごとの推進組織の活動支援などを通じ、交流人口の拡大及び地域の活性化につなげます。

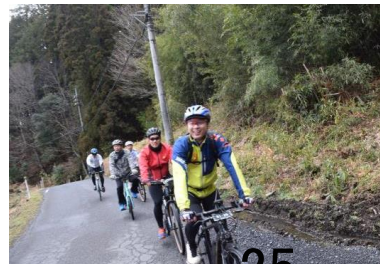
- 1 全県サイクルツーリズム推進に向けたプロモーションの強化 (2,000千円)
  - ・プロモーション動画の作成【新規】
- 2 サイクルツーリズムの推進を通じた稼げる地域づくりの推進 (7,260千円)
  - ・マーケティング調査の実施【新規】
  - ・サイクリングガイド（サポートライダー）の養成・活用
- 3 国内外向けの情報発信の強化 (7,000千円)
  - ・専門家の指導・助言によるモデルコースの策定支援
  - ・全県サイクルツーリズム推進に向けたウェブページの制作【新規】
- 4 各モデルルートごとの推進組織の活動支援
  - ・大洗ひたち海浜シーサイドルートにおける官民連携組織の設立に向けた関係機関との調整 等



【県内のモデルルート図】



【サイクルツーリズム推進組織の立ち上げ】



【モデルコース策定に向けた試走会】



# 水郷筑波サイクリング環境整備事業



【R2当初予算額 52,351千円】

県民生活環境部スポーツ推進課 サイクリングG (029-301-2735)

第1次ナショナルサイクルルートに指定された「つくば霞ヶ浦りんりんロード」を活用し、インバウンド誘客の視点に立った情報発信や誘客の取組を進めるとともに、官民が連携して沿線地域全体で稼げる地域づくりを進めます。

## 1 メインターゲットを絞った戦略的なプロモーション (24,000千円)

- ・ 自転車で地域の体験拠点等を巡るツアーの開催支援【拡充】
- ・ 国内外メディアを対象としたモニターツアーの開催【拡充】
- ・ サイクリングガイド（サポートライダー）の養成・活用
- ・ つくば霞ヶ浦りんりんロードポータルサイトを通じた魅力の発信



【星野リゾートBEB5土浦】



【サイクリングツアー(イメージ)】

## 2 インバウンド観光客の誘客促進 (15,800千円)

- ・ 台湾・欧米向けプロモーション【拡充】  
(台北国際サイクルショー等への出展, 欧州向け国内PR)
- ・ マーケティング調査の実施



【台湾でのプロモーション】

## 3 つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会運営 (12,551千円)

- ・ つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会における情報発信及び誘客の取組



## 25 市民力による歴史遺産活用まちづくりプロジェクト

### 県立こころの医療センター旧検査棟（筑波海軍航空隊記念館）改修等事業【概要】

#### 1 現況・課題

筑波海軍航空隊記念館（こころの医療センター旧管理棟）は県有施設であるが、現在、地元笠間市が映画ロケ地としての知名度を活かして、観光施設として利活用を図っている。

しかしながら、施設の老朽化等の課題から恒久的な施設となっていない。

#### 2 目的

歴史的な遺構として将来にわたって利活用が図れるよう、新たな観光及びまちづくり拠点として機能強化を図り、地域の活性化、賑わいづくりの創出につなげる。

#### 3 内容

現在、展示等を行っている、旧管理棟に隣接する旧検査棟の改修などを行い、新たな観光拠点等としてリニューアルを図る。

##### (1) 事業主体：笠間市

※県は笠間市に対して事業費の1/2(64,073千円)を負担金として支出

|       |                                 |                       |                       |                                 |
|-------|---------------------------------|-----------------------|-----------------------|---------------------------------|
| 【市歳出】 | 笠間市 施設整備費(全額)                   |                       |                       |                                 |
| 【市歳入】 | 補正予算債<br>【充当率100%】<br>*交付税措置50% | 地方創生拠点整備<br>交付金※(1/2) | 地方創生拠点整備<br>交付金※(1/2) | 補正予算債<br>【充当率100%】<br>*交付税措置50% |

《県分：県から市への負担金》

《市分》

※交付金及び地域再生計画は市・県連名で申請

##### (2) 整備等内容

###### ア 旧検査棟整備工事

耐震工事の実施、物販施設・研修室としての改修整備等を行う。

###### イ 旧管理棟耐震予備調査・耐震診断調査

保存・利活用に向けて耐震診断調査等を行う。

###### ウ 旧管理棟利活用方策検討調査

耐震診断の結果を踏まえ、今後の利活用方策について検討を行う。

##### (3) 事業期間：平成28年度～平成29年度

##### (4) 予算額：64,073千円(28補正 地方創生拠点整備交付金)

#### 4 筑波海軍航空隊記念館の概要 ※H30～

(1) 設置者：笠間市（県から施設を借受けた上で公の施設として管理）

(2) 施設：旧管理棟(鉄筋コンクリート3階, 1,684㎡)

旧検査棟(鉄筋コンクリート2階, 573㎡)… 記念館として公開

(3) 運営：筑波海軍航空隊プロジェクト実行委員会（市から指定管理）

(4) 経過：昭和13年 旧司令部庁舎建設

昭和20年 筑波海軍航空隊解体

昭和35年 県立友部病院開設

平成23年 こころの医療センターへ改称・新病院建設

平成24年 映画「永遠の0」撮影

平成25年 旧司令部庁舎を記念館として一般公開



DMO観光地域づくり推進事業



【R2実績額 62,709千円】

営業戦略部観光物産課 (029-301-3617)

訪日外国人旅行客の増加に伴う受入体制の整備や、観光産業の競争力の強化、さらには観光ニーズを踏まえた魅力向上の取組といった課題に対し、県域DMOが将来的に自立した活動を展開し、地域全体が継続して「稼ぐ」ことができる仕組みを構築していく。

1 DMO形成・確立に向けた人材の育成・確保・活用

- (1) 市町村、事業者等を対象としたセミナーの開催
- (2) 県域DMOの機能強化するための費用の支援
- (3) 中核人材テキストの作成
- (4) 中核人材の育成・確保のための情報発信



3 本県の特性(強み)を活かした国内誘客促進

- (1) 県内絶景を巡るメディア等向けモニターツアーの実施
- (2) 日本遺産構成施設を紹介する動画の作成



2 魅力ある観光地域づくり

- (1) 宿泊施設の魅力向上に向けた専門家によるコンサルティング
- (2) 宿泊業の若手経営者の実証的チャレンジを一貫して支援



4 稼げる観光産業の振興

- (1) 食のプロフェッショナルによる県内飲食店の審査とPR
- (2) 茨城県の「既存名物料理ウェブコンテスト」と本県特産品を使った「新名物料理コンテスト」の実施
- (3) お土産品の販売促進・ブラッシュアップ支援



## 27 筑波山・霞ヶ浦広域エリア観光連携促進事業



(地方創生推進交付金)

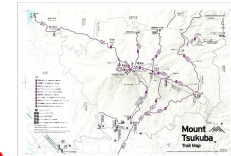
本県観光の玄関口である、筑波山・霞ヶ浦エリアへの誘客を契機に、県全域への周遊観光及び宿泊を含む県内全体の観光入込の増加、地域全体の「稼ぐ」力の向上を図る。

筑波山・霞ヶ浦という自然資源を観光の核として、サイクリストや山ガールなどアウトドアアクティブ層をメインターゲットに観光資源の掘り起し・磨き上げや土産品等の開発、筑波山サインガイドラインの整備等に取り組む。

### (1) 筑波山マルチアクセスマップ作成

女性や若者を中心に、観光客に何度も来てもらうため、複数の自治体にまたがる山頂へのアクセスルートを網羅した携行登山マップを作成。

H30



### (2) 土産品・地元グルメ開発支援

地元ならではの「食の土産品・グルメ」の開発プラン、既存商品のパッケージデザインの改良プランを公募。コンペ方式により選定した事業に対し、開発・改良経費補助、完成品の販売促進等の支援を実施。

H30

R1

R2



### (3) 筑波山・霞ヶ浦を周遊するツアープログラム等の開発支援

筑波山・霞ヶ浦の自然を活かした新規性・独創性の高い体験型ツアーの開発を支援。併せて、筑波山・霞ヶ浦エリアの観光資源や開発したツアー等をPRするためのメディア広告掲載による情報発信の実施。

R1

R2



### (4) 筑波山観光案内サインに係るガイドライン整備

筑波山の公共サイン(案内看板)について、その統一性の確保を図るためのガイドラインを整備する。

H30

R1

R2

(R2)販売開拓支援を独立

土産品・地元グルメ  
開発支援

「マルチアクセスマップ」  
作成

「観光案内サイン」  
に係るガイドライン整備

ツアープログラム  
開発支援

地域全体で  
「稼ぐ」力の  
向上

## 茨城県フラワーパークリニューアル関連事業（新規）

【H31当初予算額 198,558千円】

※H30最終補正予算額を含む

営業戦略部観光物産課観光戦略G（029-301-3617）

民間企業の経営感覚と自由な発想を活かして策定した魅力向上計画を踏まえ、フラワーパークを茨城の魅力を再発見・再発信することのできる観光拠点に一新し、観光客増加と地域経済活性化を図ります。

### 1 事業内容

- ・民間企業の経営感覚と自由な発想を活かした施設の改修等を実施

※フラワーパーク魅力向上計画のコンセプト  
「見る」から「感じる」フラワーパーク  
～「ばら」から始まる茨城再発見～

### 2 スケジュール（予定）

○2019年度（基本設計及び実施設計，施設整備の一部を実施）

- ・ワークショップ施設の整備  
（展示温室を体験型施設に改修）
- ・ロゴデザイン等制作業務委託  
（イメージ新のためロゴや看板を変更）

○2020年度（実施設計及び施設整備を実施）

- ・レストラン新設，ローズガーデン改修 等  
⇒リニューアルオープン

### 3 全体事業費

約18億円（地方創生拠点整備交付金を活用予定）

〈ワークショップ施設整備のイメージ〉



現在の展示温室



フラワーアレンジメントや木工細工等が体験できるワークショップ施設

〈レストラン新設のイメージ〉



現在の大温室（フラワードーム）



開放感あふれる空間で花や自然を感じながら本県の味覚を楽しむレストラン

### いばらき地酒バー販路拡大促進事業（継続）

【R2予算額 49百万円】

産業戦略部産業政策課地域産業振興室（029-301-3585）

本県産日本酒のブランド力向上，販売店や飲食店での取り扱い強化を図るため，駅構内のスタンドバーや海外高級ホテル等において，魅力発信や販路開拓を進めます。

#### 1 「いばらき地酒バー」を拠点とした魅力発信（10百万円）

- (1) 「いばらき地酒バー」におけるPRイベントの実施
- (2) 消費者や観光客に地酒を語る「いばらき地酒ソムリエ」の育成・活用
- (3) 酒販店や飲食店等で構成する「いばらき地酒提供サポーターズ制度」の運営・活用

#### 2 ブランド力向上（11百万円）

- (1) 著名人と連携したPRイベントの実施
- (2) 都内高級飲食店等への販路拡大

#### 3 海外販路開拓に向けた取組強化（28百万円）

- (1) シンガポールの高級飲食店等を対象としたビジネスマッチングの実施
- (2) 農産物輸出規制地域（台湾）における地酒プロモーションの実施

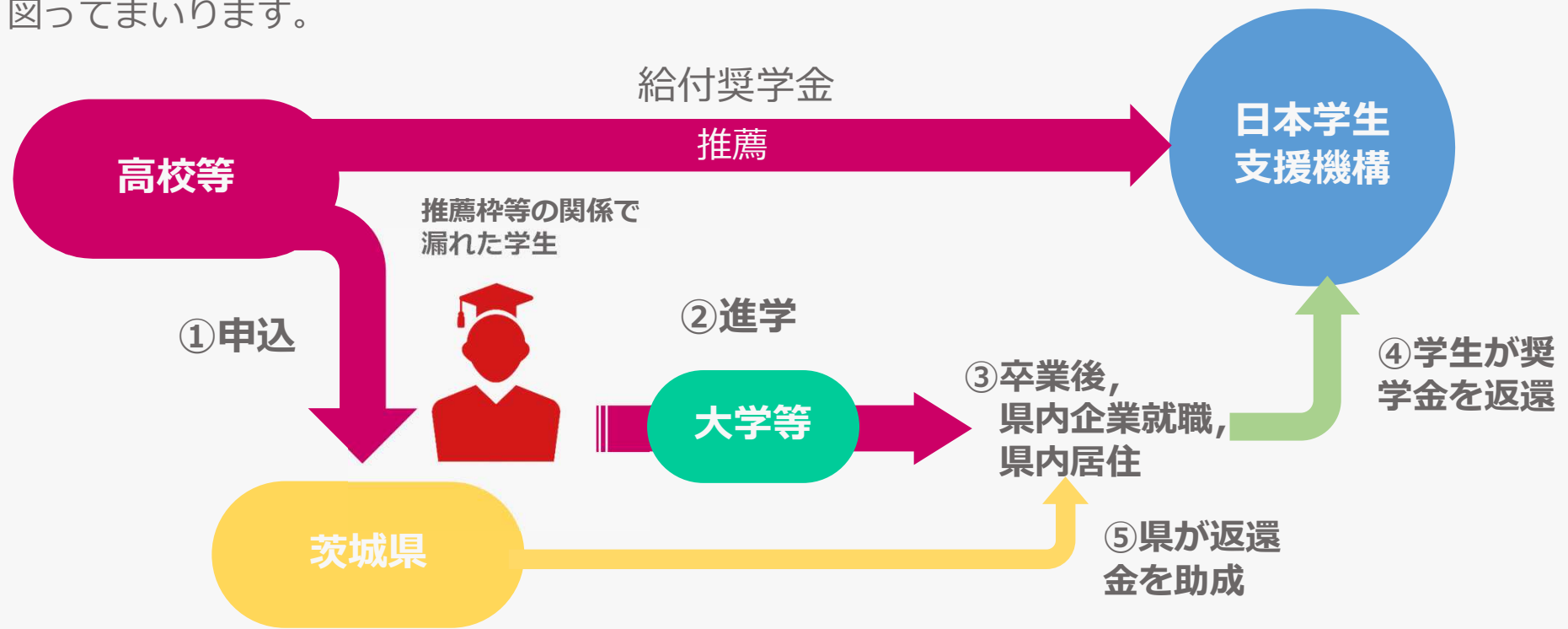


いばらき地酒バー（水戸駅）



## 茨城県「就職支援奨学金助成制度」について

- ・ 県は今年度から「就職支援奨学金助成制度」を創設。
- ・ (独法)日本学生支援機構の「給付奨学金」の要件を満たしながらも、学校推薦枠から外れた生徒が対象(本年度のみ既に進学している対象者も含まれます。)
- ・ 返還の必要のある奨学金(「日本学生支援機構奨学金、茨城県奨学資金」など)の貸与を受け、卒業と同時に県内に就職・定住した場合に、奨学金返還の助成
- ・ 経済的理由により修学が困難な者の進学を後押ししつつ、本県への人材還流・地元定着の促進を図ってまいります。



## 茨城県「就職支援奨学金助成制度」について

### (1) 助成要件

- ・ 県内の企業等に正規雇用により就職していること
- ・ 県内に住所を有し，10年間以上定住する予定であること  
県内に戻ってくるか分からないが，申請可能か→可能です。

### (2) 助成額

大学等在学中に貸与を受けた奨学金の返還額(上限**192万円**)

※修学期間により異なります

### (3) 対象人数

各年度**100名**

### (4) 助成開始時期

卒業等により助成要件を満たした時

※実際に奨学金の返還が始まる**卒業年の9月から**助成を開始。

### (5) 募集期間

～**平成30年12月31日（月）** 消印有効

## UIJターン・地元定着支援強化事業

【R2当初予算額 15,960千円】

産業戦略部労働政策課雇用促進対策室 (029-301-3645)

県内の魅力ある企業の情報発信を強化するとともに、大学や本県産業界と連携してUIJターン・地元就職を促進します。

### 1 県内外大学と産業界等との連携体制「就職応援“くらぶ”」の運営

- 大好きいばらき就職応援“くらぶ”加盟状況  
136大学等（大学等119(うち女子大18), 1行政機関, 16経済団体等)
- 大学内Uターンセミナー等での情報発信, 就職相談対応
- 大学・企業間交流会, 保護者向け企業説明会等の開催

### 2 企業の採用力強化支援

- 中小企業の採用戦略改善・PR力強化のための実践型連続講座の開催（連続4回, 30社程度）

### 3 企業と学生のマッチング支援, 企業の魅力発信強化

- 経営者随行型, 留学生対象など本県独自のインターンシッププログラムの実施
- 高校生向け早期キャリア講座（企業見学バスツアー, 先輩社会人によるキャリア講座）の開催



—経営者随行インターンシップの様子—

# 32 つながる茨城チャレンジフィールド

## つながる茨城チャレンジフィールドプロジェクト事業概要

R2実績額 94,196千円（地方創生推進交付金）

東京圏のフリーランスIT人材等との継続的な関係を構築することで、本県の地域課題の解決に寄与する関係人口の創出を図るとともに、その受け皿となる県内の地域コーディネーター等との連携を図ることで、東京圏から本県への新しいひとの流れをつくる。また、市町村と連携した情報発信等により移住・二地域居住の促進を図る。

### 1 関係人口の創出

ローカル志向を持つ東京圏の人材を、地域や地域住民との多様な関わりを持ち地域づくりに貢献する「関係人口」として創出するとともに、多様な関わりの機会の受け皿となる地域住民や企業等を県全体で見える化する。

- 移住ポータルサイト「Re:baraki」の運営

### 2 持続的に「しごと」が生まれる仕組みの構築

「関係人口」が本県地域との関わりながら、地域の活性化や地域課題の解決に取り組むことにより、地域で携わる「しごと」が創出される仕組みを構築する。なお、特に人口減少が進んでいる県北地域においては、クリエイティブ人材に対するコミュニティの育成から「しごと」のマッチングまでを一体的に支援する。

- 新たな「しごと」を創出する課題解決型プロジェクト(if design project)
- 企業向け開発合宿のパッケージ化(Camp in IBARAKI)
- 県北地域における地域課題の解決等に取り組む起業家の誘致(茨城県北クリエイティブプロジェクト)

### 3 中間支援プラットフォームの構築

上記の取組を持続可能なものとしていくため、民間の地域コーディネーター等を介した「ひと」と「ひと」、「ひと」と「しごと」のつながりが創出される仕組みを構築

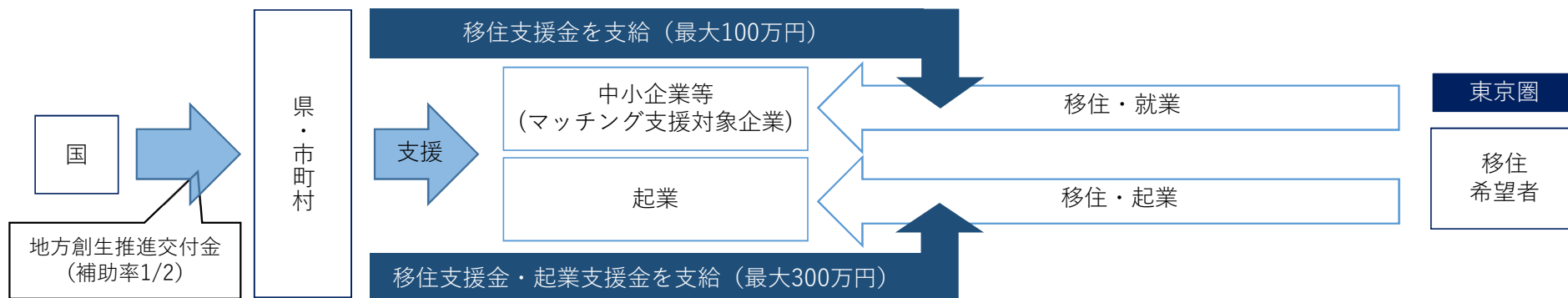
- 地域コーディネーター人材の確保・育成(STAND, 地域おこし協力隊研修)
- 都内相談窓口の運営(いばらき暮らしサポートセンター, いばらき移住・就職相談センター)
- いばらき移住・二地域居住推進協議会の運営

## わくわく茨城生活実現事業

[R2実績額 20,320千円]

移住やU・I・Jターンに伴う経済的負担を軽減するため、東京圏から本県への移住者に対して移住支援金を支給する。また、県内経済の活性化を図るため、地域課題の解決に資する効果的な起業をする者に対して、起業支援金の支給や伴走支援を行う。R2年度は38市町村と連携。

| わくわく茨城生活実現事業   | 地域課題解決型起業支援事業  |
|--|--|
| <p>◎移住支援金の支給</p> <p>■補助額：100万円/世帯，60万円/単身<br/>(国1/2，県1/4，市町村1/4)</p> <p>■対象者：次の2つの要件を満たす者</p> <p>①東京23区在住者又は東京23区へ通勤する東京圏在住者（いずれも直前に連続して1年以上かつ直前の10年間のうち通算5年以上）で本県に移住した者</p> <p>②都道府県が運営するマッチングサイトに掲載された支援対象中小企業等に就業した者又は起業支援金の交付決定を受けた者</p> <p>■申請時期：移住後1年以内かつ就業後3か月以上経過後又は移住後1年以内かつ交付決定後1年以内</p> | <p>◎起業支援金の支給</p> <p>■補助額：上限200万円 [国1/2，県1/2]</p> <p>■対象者：次の3つの要件を満たす者</p> <p>①県が地域再生計画に位置付ける社会的事業（地域活性化，まちづくりの推進等）の分野において起業する者</p> <p>②県内において起業する者</p> <p>③公募開始日以降，補助事業完了日までに法人の設立，あるいは個人開業届の提出を行う者</p> <p>■募集時期：7月～8月</p> <p>◎支援対象者に対する採択後の伴走支援，創業後の事業継続支援等</p> |
| ■R2実績：4人   | ■R2実績：5人   |



### 働き方改革・生産性向上促進事業

【R2当初予算額 28,979千円】

産業戦略部労働政策課労働経済・福祉G (029-301-3635)

多様な働き方が可能な労働環境の整備と生産性向上に意欲を持つ企業に対する集中的・一体的なコンサルティングによりモデル企業を育成し、その取組と成果を県内中小企業へ波及させます。また、働き方改革の取組が総合的に優れた企業を認定し、県内企業の働き方改革・生産性向上を促進します。

#### 1 企業に対する支援

- 個別コンサルティング（10社）・成果事例の普及
  - ・意欲ある県内中小企業10社（うち小規模な事業所を5社）に対し、長時間労働の是正や、生産性向上等の改善策を集中的に実施
  - ・コンサルティング実施企業の成果事例発表会を開催
  - ・ICT導入事例など生産性向上等の手法に関する動画を作成



-ウェブ会議システムによる会議の様子-

#### 2 企業等に対する普及啓発・取組促進

- いばらき働き方改革推進協議会の運営
  - ・いばらき働き方改革推進月間（8月・11月）の実施
  - ・「仕事と生活の調和推進計画」の策定促進
- 働き方改革優良（推進）企業の認定
  - ・ワーク・ライフ・バランスなどの働き方改革の取組が総合的に優れた企業を認定し、特に優良な中小企業の取組をセミナー等の場で発表



-成果事例発表会の様子-

## 35 茨城県立県民文化センター施設整備事業

### 県民文化センター施設整備事業

【H28補正予算額 40,000千円(拠点整備交付金)】

県民生活環境部  
生活文化課文化振興(2824)

県民文化センターは、本県の文化芸術の拠点施設であり、練習室を増築することで施設の機能強化を図り、利用者の文化活動の発信や相互の交流を活発化させることで、新たな本県の文化を創造するとともに、地域の活性化を図る。

#### ○県民文化センター練習室増築工事

- ・事業費：40,000千円（実績額：35,288千円）
- ・位置：県民文化センター西側
- ・構造：平屋建て
- ・延床面積：46.53㎡
- ・建築面積：49.44㎡
- ・主な仕様：フローリング、鏡(W6.8m×H2.3m)、トイレ、洗面台
- ・工事完了：平成30年3月
- ・利用開始：平成30年4月～
- ・利用実績：文化団体利用68団体、学生利用17件(R2年度)



# 茨城県産業技術イノベーションセンター－基盤技術試験棟整備事業

## 産業技術イノベーションセンター－施設整備事業

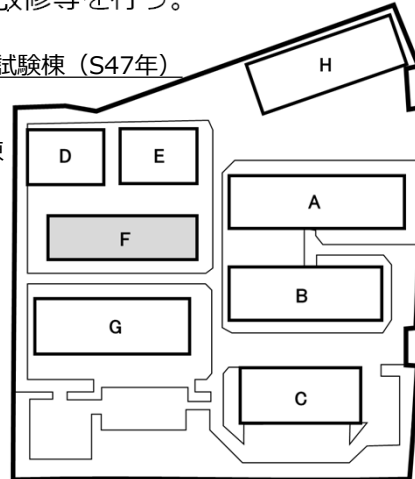
### 将来のビジョン

産業技術イノベーションセンター（以下「センター」）において、宇宙、航空機に係る先端材料（CMC）などに関する先導的な研究・開発を行える環境を整備し、産学官連携によるイノベーション創出の拠点とする。

### 現状・課題

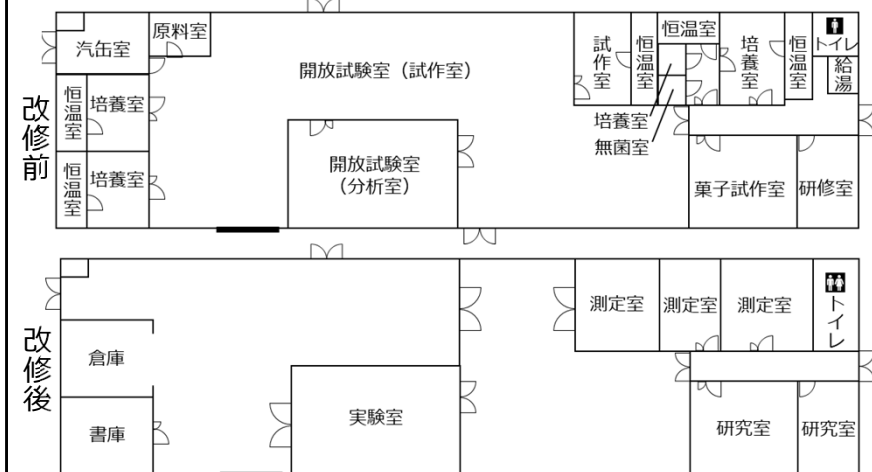
- ◆ センターの既存施設では、宇宙分野に用いられる先端的な材料等を研究するための環境などが不足
- ◆ 上記環境を整えるため、センターの改修等を行う。

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| A 管理・機械金属研究棟 | F 食品中間工業試験棟（S47年） |
| B 機械金属試験棟    | → 改修予定            |
| C 研修交流センター   | G 生産技術棟           |
| D 清酒製造技術研究棟  | H I o T/食品棟       |
| E 食品棟        |                   |



### R2事業内容

先端的な材料の開発に向けたセンターの改修等（165,315千円）



- ・既存の壁は撤去→部屋設置
- ・外壁改修
- ・コンクリート研り→床設置
- ・空調工事
- ・受電設備設置工事 等

### 想定される研究内容

|    |   |
|----|---|
| 内容 | CMC材料の加工技術  |
| 概要 | SiC（炭化ケイ素）繊維をセラミックの母材と複合化した材料。高耐熱、軽量。ロケット用スラスタやジェットエンジンのフィン等への利用が期待されるが、非常に硬く加工が困難。 |



ロケット用噴射装置



ジェットエンジン



## 事業名 フラワーパーク振興対策事業

【R2当初予算額 1,800百万円】

※R1最終補正予算額を含む

営業戦略部観光物産課戦略G (029-301-3617)

民間企業の専門的な知識やノウハウを活用し、平成30年度に策定した「フラワーパーク魅力向上計画」に基づき、施設の改修や全面的な運営体制の見直しを実施し、観光拠点としての価値向上を図り、観光客増加と地域経済活性化を図ります。

### 1 事業内容

- ・民間企業の専門的な知識やノウハウを活かした施設の改修等を実施

※フラワーパーク魅力向上計画のコンセプト  
「見る」から「感じる」フラワーパーク  
～「ばら」から始まる茨城再発見～

### 2 スケジュール（予定）

- 2020年度（実施設計，工事を実施）
  - ・レストラン・エントランスギャラリーの新築
  - ・インフォメーションセンター等の改修
- 2021年度
  - ・リニューアルオープン（4月下旬予定）

### 3 令和2年度事業費

- ・約18億円（地方創生拠点整備交付金を活用予定）



エントランスギャラリーのイメージ



花の川のイメージ

# アクアワールド茨城県大洗水族館魅力向上事業

## アクアワールド茨城県大洗水族館魅力向上推進事業

【H31当初予算額 700,000千円】

県民生活環境部生活文化課

水族館魅力向上推進室 (029-301-2826)

20～30代のカップル層をターゲットとし、おしゃれで洗練された雰囲気を整備することで、ファミリー層のリピートはもとより、若い世代について、さらなる誘客促進を行い、大洗町及びその周辺市町村における重要な観光拠点として入込客数の増加を図る。

事業概要：水族館の魅力アップのためのリニューアル

### ①クラゲ水槽等改修工事

- ・クラゲ大水槽の新設し音響・照明設備等と連動させ、幻想的な空間を創出

### ②リニューアル展示工事

- ・VR映像設備を導入し、VRでホホジロザメ等の展示
- ・音と光を用いた新たなイルカショーのための演出用照明整備
- ・ミュージアムゾーン及び飲食ゾーンにおいて、大人がくつろげるデザイン性に優れた空間へ改修

事業費：700,000千円（実績額：660,737千円）

工事完了：令和2年12月14日

利用開始：令和2年12月14日

利用状況：毎週土曜日閉館時間後の18:00～20:00に「ナイトアクアワールド」開催



クラゲ水槽



VR映像設備



ミュージアムゾーン



イルカショープール